

令和7年がん検診受診率について（国民生活基礎調査結果）

1 趣 旨

令和8年7月15日に厚生労働省から公表された「令和7年国民生活基礎調査」の結果をもとに、独自に本県のがん検診受診率を算出した。

◆◆ 令和7年国民生活基礎調査 ◆◆

【調査実施】令和7年6月

【調査対象】全国の約30万世帯・世帯員約65万4千人

※うち広島県のがん検診受診率算出の対象者

検診種別	調査回答者数	住民基本台帳年齢階級別人口(参考)R7.1.1現在	抽出率
胃(50～69歳)	731人	713,379人	0.1%
肺、大腸がん(40～69歳)	994人	1,064,702人	0.1%
子宮がん(20～69歳)	676人	796,617人	0.1%
乳がん(40～69歳)	504人	534,586人	0.1%

2 広島県のがん検診受診率

次表のとおり、「胃がん」及び「肺がん」検診では目標の受診率50%以上を達成したものの、その他のがん種（＝「大腸がん」、「子宮がん」、「乳がん」）の検診では目標を達成できなかった。
なお、前回調査（令和4年）と比較すると、全てのがん検診で受診率は上昇している。

◆令和7年国民生活基礎調査結果

区分	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
広島県	51.4%	50.5%	45.8%	43.2%	47.2%
全 国	51.2%	52.4%	48.5%	46.1%	51.0%

前回調査（R4）比較増減

受診率（広島県）	1.0p 上昇	2.8p 上昇	1.8p 上昇	0.7p 上昇	4.6p 上昇
----------	---------	---------	---------	---------	---------

区分		胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
(参考) 令和4年	広島県	50.4%	47.7%	44.0%	42.5%	42.6%
	全 国	48.4%	49.7%	45.9%	43.6%	47.4%
(参考) 令和元年	広島県	47.5% (41.3%) ※1	45.9%	41.0%	43.6%	43.9%
	全 国	49.5% (42.4%) ※1	49.4%	44.2%	43.7%	47.4%
(参考) 平成28年	広島県	40.5%	42.1%	38.8%	40.2%	40.3%
	全 国	40.9%	46.2%	41.4%	42.4%	44.9%

※1 「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の改正により、現在は50～69歳の者に2年に1度の受診を特に推奨する形となっている。令和元年集計より、改正を反映した受診率を示しているため、従前の対象者（40～69歳、過去1年間の受診）で集計した場合の結果を参考に示しているもの。

※2 令和元年、4年：肺・大腸については過去1年以内、胃・子宮・乳については過去2年以内の受診状況
平成25年、28年：胃・肺・大腸については過去1年以内、子宮・乳については過去2年以内の受診状況

※3 H28調査は、熊本地震の影響により調査を実施していない熊本県分を除く。